

北海道中標津農業高等学校

教頭 漆 原 剛

1 本校の概要

昭和25年4月に開校し、67年目を迎えました。現在、根室管内唯一の町立高等学校として農業学習を中心とした教育活動に取り組んでいます。本校の設置されている計根別地区は町内で唯一、幼稚園、義務教育学校、高等学校が設置されています。この地域性と立地を活かし、異校種間連携と地域連携を取り入れながら教育活動を展開しています。

本校の取組のいくつかを次に紹介します。



2 特色のある食農教育

近年では、全国的にも珍しくなかった「食農教育」ですが、本校においては幼稚園・義務教育学校と連携し系統立てて実施しています。栽培や飼育を通してそれぞれの学習指導要領に合わせて、命の大切さや食・健康についての学習を授業に組み込み高校生が先生役となって実施しています。



この学習は、「ヶ根別食育学校」として十二年目を迎え、昨年度、総務省より「ふるさとづくり大賞（総務大臣賞）」を受賞しました。加えて北海道新聞社「地域げんき大賞」も受賞しました。この受賞を糧に今後継続して取り組んでいきます。

3 PTA活動

校内的な取組として学校祭におけるPTAバザーの運営、校内マラソン大会の補助及び農業関係発表会の審査員等があります。校外的には地域のお祭り、イベント等での校外巡視、町内ソフトバレーボール大会への出場、全道・管内PTA各種研修会への参加など年間を通じて様々な取組を行っています。



学校祭でのPTAバザーは、全保護者の3割以上の保護者が集まり、アイデアを凝らした6品目を提供しています。参加している保護者の方々も楽しみながら参加しているのが本校PTA活動の特徴です。